

地域環境アドバイザー 養成講座 実践編

今私たちの住む地球環境を守るためには、一人ひとりが身近な地域環境に関心をもち、優しい環境づくりについて学びから活動へと、実践につなげることが大切になってきています。そのような人材を育てるために、この講座は「基礎・学習編（平成 21 年度）」、「実践編（平成 22 年度）」を実施し、修了者には「山口県立大学地域環境アドバイザー」の認定証を授与します。これまで受講されている方々は勿論のこと、初めての方も歓迎します。

実践力を身につけ、楽しくネットワークを広げましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

受講の流れ

最初の 4 回の講座（6/8、6/15、6/22、6/29）は全員で受講します。その後、4 つの実践活動の中から 2 つの活動を選び、グループ別に受講します。グループ別活動終了後、10/26、11/13 は全員参加します。

◆プログラム

	日時・場所	講師等	内容	
全体	6/8（火）	18:30～20:00 山口県立大学 D14 教室 (4号館1階)	フィールドワークの概要説明・山口市バイオマス事業説明	
	6/15（火）		山口県立大学 共通教育機構 教授 新谷明雲 「オゾン層の破壊」	
	6/22（火）		山口県立大学 共通教育機構 教授 小川雅広 「農業問題」	
	6/29（火）		フィールドワークのグループ調整及び自己紹介	
グループ別実践活動 (詳細は裏面)	4 つの実践活動の中から、2 つの実践活動を選んで受講する。(原則 4 回出席)			
	1	① 9/1（水）10:00～16:00 ② 9/5（日）10:00～16:00	山口県立大学 名誉教授 伊原 靖二	山口の水環境を調べてみよう
	2	4月中旬～10月上旬	山口県立大学 共通教育機構 教授 小川 雅広	環境米を作ろう！
	3	① 7/11（日）10:00～16:00 ② 8/1（日）10:00～16:00	山口県立大学 共通教育機構 講師 今村 主税	廃棄物の現状と地球温暖化防止活動 ～ゴミ問題と環境意識の啓発～
	4	① 8/22（日）10:00～16:00 ② 8/29（日）10:00～16:00	山口県立大学 共通教育機構 教授 新谷 明雲	紫外線と電磁波の健康影響 ～生活環境における紫外線と電磁波の強度～
全体	10/26（火） 18:30～20:00	山口県立大学 D14 教室 (4号館1階)	まとめ・グループ別発表に向けて	
	11/13（土） 13:00～16:00		グループ別発表	

受講料 3,000 円（全 10 回） ※受講料は、初回受付時にお支払いください。

募集定員 40 名（応募者多数の場合は抽選となります。）

申込方法 氏名（フリガナ）・郵便番号・住所・電話番号・希望する実践活動グループを第 3 希望まで明記の上、はがき・電話・FAX でお申し込みください。

申込先 〒753-8502 山口市桜島 3 丁目 2-1
山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495

締切日 平成 22 年 5 月 28 日（金）



実践コースのご紹介

【コース1】 講師：名誉教授 伊原 靖二

山口の水環境を調べてみよう

日時：①9月1日（水）②9月5日（日） 10:00～16:00

場所：①現地（山口市朝田浄水場、山口市浄水センター）
②山口県立大学A21番教室（本館2階）

◆内容

山口市上下水道施設の見学、及び実際に榎野川の水をポイント別に採取して、主としてパックテストを用いた水質測定を行います。

◆実践内容及び日程

1日目：各自、朝田浄水場に午前10時までに集合して、施設の説明及び浄水場と水質分析機器等の見学を行います。昼食後浄水センター（下水道施設）に移動して同様に施設の見学を行います。

2日目：大学に午前10時までに集合して、採水器等を点検後、ポイント別に採水に行きます。採水と共に河川の様子等を記録します。昼食後大学に戻り、採水した水を主としてパックテストを用いて水質測定を行い、各ポイント別のデータから河川の水質状況を把握し、現状を知ると共に、今後の問題点と対策を考えます。

◆各自の準備物：筆記用具、カメラ等

◆その他

上下水道見学は午前（上水道）、午後（下水道）両施設の参加が原則ですが、最低一施設でも可とします。他コースの方も、希望があれば参加出来ます。

※雨天の場合、日時を変更することがあります

※詳細は第1回の講座の時にお知らせします。

【コース2】 講師：共通教育機構教授 小川 雅広

環境米を作ろう！

日時：4月中旬（種まき）～10月上旬（収穫）

※詳細は別記

場所：山口県立大学・仁保及び天花（一ノ坂ダムの近く）

◆内容

米作りを最初から最後まで学習・実践し、将来的には自分の家族の1年間分のお米を自分で作れるようになることをめざします。

◆実践内容及び日程

- ・種まき：4月18日～5月10日 この期間の1日
苗箱作りをし、種もみをまき、苗の準備をします。
- ・田んぼ作り：5月16日～31日 この期間の1日
田んぼを耕耘機で耕し、水を入れ、田んぼ作りをします。
- ・田植え：5月23日～6月6日 この期間の1日
田植機を使って田んぼに稲の苗を植えます。
- ・草刈り：7月～9月 この期間の1日
草刈り機を使って田んぼの畔に生えた雑草を除草します。
- ・稲刈り：9月26日～10月4日 この期間の1日
コンバインを使って実った稲を収穫し、乾燥する。
- ・玄米作り：9月27日～10月4日 この期間の1日
粃スリをし、玄米にした後精米する。

◆各自の準備物

農作業に適したもの：作業服、軍手、タオル、帽子、雨具等

◆その他

水分補給をするように準備してください。

【コース3】 講師：共通教育機構講師 今村 主税

廃棄物の現状と地球温暖化防止活動

～ゴミ問題と環境意識の啓発～

日時：①7月11日（日）②8月1日（日） 10:00～16:00

場所：①午前：山口県立大学A21教室（本館2階）
午後：積水ハウス住まいの夢工場
②山口県立大学A21教室（本館2階）

◆内容

7月：「企業における廃棄物の先進事例の見学」
産業廃棄物がどのように分類・処理され、どのようなものに生まれ変わっているか、積水ハウスでリサイクルの現場を見ます。

8月：「環境教育教材作成実習」

地域に出て皆さんが活用できるような教材を作成します。

◆実践内容及び日程

1日目：（午前）事前の説明、移動。（午後）現場を見ます。

2日目：皆さんが環境教育活動を行うときに使えるような教材（双六・かるた等）を作成し、楽しみながら次の活動へつなげます。

◆各自の準備物

筆記用具、ノート、アイディア



【コース4】 講師：共通教育機構教授 新谷 明雲

紫外線と電磁波の健康影響

～生活環境における紫外線と電磁波の強度～

日時：①8月22日（日）②8月29日（日） 10:00～16:00

場所：山口県立大学環境物理学研究室（本館2階）

◆内容

2日間のうち1日を紫外線についての学習と測定に、2日目を電磁波についての学習と強度測定を行います。

◆実践内容及び日程

1日目：午前10時に集合し、研究室に於いて紫外線と電磁波の健康影響についての学習を行います。測定実施に向けた計画（予測や仮説）を立案します。学内及び山口市内（変電所、送電線下）においての電磁波測定をします。その後、研究室にてデータ整理を行います。

2日目：午前10時に集合し、1日目と同じ時刻・場所に於いて紫外線及び電磁波の強度測定を行います。研究室に戻りデータ整理を行います。2日間のデータから強度の日変化を見ます。紫外線については雲量とどのような関係にあるかを、電磁波については気温との関係を注目します。

◆各自の準備物

ノート、筆記類、2日間の飲食代。

◆その他

人数によっては測定場所を変更します。

★「基礎・学習編」「実践編」の両方を修了された方には「山口県立大学地域環境アドバイザー」の認定証を授与します。